

ウニは人間の健康のための貴重な栄養源

- 1 自治体名：沿海地方
- 2 発表者名：ペレホジェワ・ダリア（Perehozheva Daria）ナホトカ市「児童及び青少年のツーリズム、見学の家」
- 3 活 動 名：ウニの調査
- 4 活動期間：2015 年 7 月 - 9 月
- 5 活動場所：沿海地方、ナホトカ周辺の入江
- 6 活動参加人数：2 名
- 7 活動をはじめた経緯：

人間にとって、ウニはかけがえのない生物資源である。ナホトカ周辺の湾にはどれぐらいウニが生息しているのか、どのぐらいの価値があるのか調べることにした。

- 8 発表要旨：

目的：ウニは人間の健康のための貴重な栄養源になるかどうかを調べる。

課題：ウニについての情報収集、ナホトカ周辺のウニの調査、ウニの価値の調査。

2015 年 6 月 - 9 月アンナ湾ではウニ調査を行った。参考書を活用して、ウニの分類を特定した。

球形の 2 種類、平板型の 2 種類で、合わせて 4 種類を特定した。まれに見られるのはオカメブングク (*Echinocardium cordatum*) とホクヨウハスノハカシバン (*Echinarachnius parma*) である。もっともよく見かけることができるのはキタムラサキウニ (*Strongylocentrotus nudus*) である。人間活動の影響が少ない入江ではウニの数が比較的に多かった。

2015 年 9 月 21 日、ヴォルナ浜では多くのエゾバフンウニ (*Strongylocentrotus intermedius*) が集中していた。産卵のためにここに集まってきたのではないかと推測した。

調査結果：

- 1) ウニは人間の健康の貴重な栄養源であることが分かった。ウニの卵巣と精巣に含まれている栄養素ががん予防、血圧正常化、体内から放射性物質を除去する。また、免疫力を高め、胃腸の病気を和らげ、心臓血管系、甲状腺および生殖腺の機能を改善する。
- 2) 日本海に面しているナホトカとウラジオストクでは 6 種類のウニが生息している。調査しているとき、エゾバフンウニ、キタムラサキウニ、ハスノハカシバン (*Scaphechinus mirabilis*)、ハイイロハスノハカシパン (*Scaphechinus griseus*) という 4 種類を発見した。
- 3) エゾバフンウニが食用に使われているから、最も数が少なかった。
- 4) 海水浴場の利用者の人数が多ければ多いほど、ウニの数が少なくなっていく。ビーチの利用者はウニを食用に取っているからである。
- 5) 自然の中でのウニの役割が大きい。ウニが海の衛生状態を守っている。
- 6) ウニは優れた「天気予報士」の能力を持っている。ウニの行動を観察すると、暴風雨が近づくことが分かり、予防措置をとることができる。
- 7) 学校で実施したアンケートによると、生徒がウニについての知識が乏しい。
- 8) 絶滅危機に瀕している生物になる前に、ウニの捕獲を制限するべきである。